

IV 「重点7分野」農林水産関係主要施策の概要

地方の個性ある活性化、まちづくり

- 稲作を中心とする地域の水田農業について、地域の個性を活かしながら競争力を強化する取組みを円滑に推進するための対策等を講じる。

地域水田農業再編緊急対策	200億円
集落ごとに構造改革に関する計画を作成し、担い手への生産の集約、有機農業の導入、生産調整の超過達成等の取組に応じて、助成。	
米流通システム改革促進対策	127億円
需要と供給のミスマッチを回避する地域の主体的取組を支援するための資金造成、予期せぬ過剰米の発生に対する調整保管等を実施。	

→関連分野「17. 地域の創造性を活かした米の構造改革の推進」(P. 79)

- 都市と農山漁村が共生・対流する活力ある社会を実現するため、「人・もの・情報」が循環する共通社会基盤(プラットフォーム)を備えた新たなむらづくりを推進。

むらづくり維新プロジェクト	166億円
地域全体の振興計画に沿って、生活環境基盤、生産基盤、情報通信基盤等について、地域の選択に応じた総合的な整備を推進。	

→関連分野「23. むらづくり維新の推進」(P. 91)

- 地域の多様な農業の実情に応じた構造改革を推進するため、地域で育成すべき担い手の明確化、農地の利用集積、集落営農の新たな確立等を推進。

地域農業構造改革緊急対策	174億円
構造展望(平成22年)達成のため、平成14~16年度の3ヶ年間で育成すべき農業経営への農地の利用集積、法人育成を加速的に推進。	

→関連分野「1. 土地利用型農業を中心とした構造改革の推進」(P. 51)

循環型経済社会の構築など環境問題への対応

- 農業の自然循環機能を活用し、都市と農山漁村とにおける食品リサイクルを始めとする有機性資源の循環利用等を促進(食と農の環づくり)。

耕畜連携・資源循環総合対策事業	89億円
家畜排せつ物、食品廃棄物等有機性資源のリサイクル等により循環型社会の構築を図るため、耕種・畜産・食品産業のリサイクル関連事業を統合。	

→関連分野「25. 資源循環型農業と食品リサイクルの推進による循環型社会の構築」(P. 98)

- 水資源のかん養、国土の保全、地球温暖化の防止、自然環境の保全など森林の有する多面的機能の持続的発揮を図るため、適切な森林整備を推進。

重視すべき機能に応じた森林整備の推進	3,580億円
重視すべき森林の機能(水土保持、森林と人との共生、資源の循環利用)の区分に応じた効率的・効果的な森林整備を推進。	

→関連分野「28. 重視すべき機能に応じた森林整備の推進」(P. 103)

地球温暖化防止等対策

259億円

地球温暖化防止等の観点から、機能が著しく低下している森林等の再生を推進するほか、幅広い国民による植樹活動の推進、松林被害対策等を実施。

→関連分野「30. 自然林等を再生・創出する緑の再生の推進」等(P. 107)

○ 良質な水を育む健全な水循環系の構築を推進。

農業集落排水事業（拡充）

577 億円

中山間地域等における合併浄化槽と連携（環境省、総務省）した整備や農業集落排水施設と農業集落道等の一体的な整備を実施。

→関連分野「27. 水資源の循環利用の促進」(P. 101)

人材育成、教育

○ 技術・経営能力向上支援体制及び労働環境の整備等の推進により、次代の農林水産業を担う人材の確保・育成を図る。

経営改善支援活動事業

10億円

認定農業者等の経営改善に向け、経営改善支援センターを中心とした支援体制を確立し、経営の発展段階に応じた高度できめ細やかな経営支援を実施。

○ 子どもたちの農林水産業に関する理解を深めるため、学校内外における農林水産業体験学習・自然体験学習等を推進する。

農業体験学習受入れ体制の整備

4億円

学校内外における農業体験学習の機会を増やすため、講師派遣、学習農園の開設、児童生徒等の受入れ、必要な施設・機械の整備等を推進。

→関連分野「4. 人材の確保・育成対策」(P. 57)

科学技術の振興

○ 科学技術基本計画の重点分野であるライフサイエンス、環境等の研究開発を戦略的に展開。

イネゲノム研究等の先端的研究の展開

67億円

塩基配列の解読と有用遺伝子の単離・機能解明等を加速化するとともに、遺伝子組換え技術に関する適切な情報提供等の事業を強化。

農林水産バイオサイクルシステム創出等に向けた環境研究の展開

17億円

食品廃棄物等の革新的な減量化・リサイクル技術及び作物資源由来の工業原材料を生産する技術を開発する。

○ 農林水産業の構造改革、地域の科学技術の振興に資する観点から、行政ニーズに的確に対応し、地域の技術シーズを活用した研究開発の推進を図る。

自給率向上に向けた農業構造改革を支える研究開発の促進

18億円

公募によって、産学官連携による優れた発想を活かした質の高い研究開発を促進する仕組みを創設。

→関連分野「22. ライフサイエンス、環境等の研究開発の戦略的展開」(P. 88)

世界最先端のＩＴ国家の実現

- 生産・流通の効率化、地域の利便性の向上等を図る観点から、e-Japan重点計画等を踏まえ、農林水産業・農山漁村及び食品流通の情報化を推進する。

情報化リテラシー向上支援事業

6億円

情報化農業確立支援推進事業

1億円

農林漁業者等の情報リテラシー向上を図るため、ＩＴ指導人材の育成、農業者等を対象とした経営診断研修等を実施。

→関連分野「20. 農林水産業・農山漁村及び食品流通の情報化」(P. 85)

- 国民の利便性の向上、行政運営の効率化等を図る観点から、e-Japan重点計画等を踏まえ、農林水産省における行政の情報化を推進する。

農林水産行政電子政府推進対策事業

8億円

農林水産省電子申請システムの本格運用に向けて、個別手続の申請書フォームの作成、手数料電子納付システムの開発等を推進。

→関連分野「21. 電子政府の推進」(P. 87)

少子・高齢化への対応

- 男女ともに働きやすく子育てしやすい環境作り等を行うとともに、高齢者が生き生きと働き、安心して暮らせる環境づくりを推進。

農業・農村男女共同参画推進事業

9千万円

男女共同参画社会の形成を促進するため、地域段階における審議会等における女性の割合、女性起業等の参画目標の策定及び達成に向けた取組を実施。

→関連分野「5. 農山漁村と食生活における少子・高齢化対策」(P. 59)

浮体式岸壁の整備(水産基盤整備事業)

189億円

陸揚げ作業等の省力化や厳しい自然条件下での就労環境を改善する浮体式岸壁等の施設の整備を推進。

→関連分野「44. 高齢者が生き生きと働き安心して暮らせる漁港・漁村づくり」(P. 126)

都市の再生—都市の魅力と国際競争力

- 都市住民に潤いのある生活空間を提供するため、都市近郊林や里山林の整備、都市部のため池や水路、海辺等の親水空間等としての整備を推進。

生活環境の保全・創出を図る森林整備の推進

72億円の内数

緑豊かな生活環境を保全・創出し、都市住民の生活に安らぎや潤いを与える重要な役割を担っている都市近郊林や里山林の総合的な整備を推進。

→関連分野「28. 重視すべき機能に応じた森林整備の推進」(P. 103)